



令和4年5月2日

5月号

品川区立第三日野小学校

校長 吉川 信次

<http://school.cts.ne.jp/hino3/>

## 三日野小の歴史①～大正から昭和～

校長 吉川 信次

5月21日は第三日野小学校100周年の開校記念日です。そこで今回は第三日野小学校の歩みについて紹介したいと思います。お子様と一緒に読んでいただき、三日野小の歴史についてふれる機会になれば幸いです。下記の内容は開校70周年同窓会記念誌「三日野の歩みとその界限」と開校70周年記念誌「三日野」を参考にしております。

### 【開校した頃（1922年～1926年）】



1922年4月、「東京府荏原郡第三日野尋常小学校」として開校し、初代校長は第二日野小学校から吉澤光義先生が就任されました。第二日野小に通学していた児童およそ800人が三日野小に移り、新たに1年生に入学した児童を加えた946名で授業が始まりました。当時の先生方は新しい学校づくりの意欲にもえ、指導の打ち合わせや研究会のため帰りが夜の10時近くになることもしばしばあり、ふくろうや狐の鳴き声に送られるのが恐ろしかったという話がのこっています。1922年5月21日に開校式が行われたので、この日を開校記念日としました。当時の三日野小の

校庭ではドッジボールが盛んに行われ、明治神宮の競技場で行われた全国大会で優勝したこともありました。

### 【昭和初期の頃（1926年～1935年）】



開校後、保護者の努力により次々と特別教室（理科・音楽・工作・裁縫・作法）が作られました。1926年には荏原郡に初めてできた公式プールが崖下に設置されました。夏休みの終わりには全校競泳大会が開かれ、三等賞まではメダルがもらえたので子どもたちは一生懸命に泳いだそうです。校庭の片隅にはコンクリート造りの立派なすべり台ができていました。このすべり台はプール工事（昭和63年）のために取り壊されましたが、すべり台の一部は記念碑として現在まで大切に残されています。

### 【戦争の時代（1935年～1945年）】



1941年、東京市第三日野国民学校となりました。日中戦争が激しくなるにつれ、子どもたちの学校生活にも戦争の色が濃くなってきました。ある卒業生は次のように回想しています。「昭和17年ころから音楽準備室が慰霊室となり、卒業生の戦死された方の写真が飾られた。朝登校して一番にお墓参りをするが、だんだんと写真が増えていくのがとても悲しかった。（後略）」昭和20年5月24日、空襲によって品川区・荏原区のほとんどの区域が火に包まれました。この空襲で第三日野国民学校は、表門の石柱と石のすべり台を残し、校舎は全焼しました。左の写真は当時の品川区西大崎交差点付近の写真です。

### 【校舎再建と2部授業（1945年～1947年）】



戦後間もなくの頃の三日野の先生方。空襲で焼け残った石のすべり台が見える。

三日野小の校舎はすべて焼失してしまったので1945年9月から芳水国民学校（芳水小）の一部を借用し授業が再開されました。最初は芳水小の子どもたちと一緒に勉強していましたが、疎開していた子どもたちが徐々に東京に戻り、人数も増えてきたので11月頃には三日野の児童だけでクラスを編成するようになりました。この頃の子どもの食糧事情は極端に悪く栄養失調のためか、ほとんどみんなが青い顔をしていたそうです。1946年10月から校舎の再建が開始され、翌年4月、木造平屋建ての六教室、職員室、給食室が完成しました。しかし、全校児童を収容することは困難であったので午前組と午後組に分ける2部授業が始まりました。そして、1947年東京都の区制変更や学制改革により「東京都品川区立第三日野小学校」となりました。